

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	肝受容体シンチグラフィを用いた肝細胞癌の悪性度診断
研究代表者	西江昭弘 (琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 教授)
当院の研究責任者	機関名：浦添総合病院 (担当者：宮良哲博、中村雅人)
本研究の目的	肝細胞癌におけるアジア糖蛋白受容体の発現を検討した報告は少ないが、その発現がみられる腫瘍は悪性度が低いことが予想される。SPECT imaging で腫瘍の 99mTc-GSA 取り込みを評価することで肝細胞癌の悪性度 (分化度や血管浸潤など) を推測できるのではと考えました。
研究実施期間	研究機関長の許可日～2026年3月
調査データ(該当期間)	2008年4月～2024年10月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2008年4月～2024年10月の間に琉球大学病院、浦添総合病院で肝受容体シンチグラフィが撮影され、その後肝切除術が施行された肝細胞癌患者</p> <p>●利用する試料・情報 肝細胞癌の 99mTc-GSA の取り込み程度 (視覚的評価、背景肝との信号比) EOB-MRI 肝細胞相での EOB 取り込み程度 (視覚的評価、背景肝との信号比) 肝受容体シンチグラフィ検査日、EOB-MRI 検査日、手術日、年齢、性別、肝機能 (Child-Pugh 分類: T-bil、Alb、PT、脳症の有無、腹水の有無)、背景肝疾患の有無 病理における肝細胞癌の分化度、血管浸潤の有無、肝線維化や炎症・壊死の程度 (新犬山分類)</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードでロックをかけたハードディスクで行います。 浦添総合病院からの HE 染色スライドの借用は浦添総合病院で規定された方法に則り申請を行います。借用スライドは琉球大学病院病理部において

	<p>厳正に保管・管理を行います。評価が終了次第、借用スライドは速やかに浦添総合病院へ返却を行います。</p>
試料・情報の二次利用	<p>本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度倫理委員会へ申請し、研究機関の長の許可を得てから行います</p>
個人情報の取り扱い	<p>調査によって得られた個人情報は、個人がわからないように匿名化して用います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則り、個人が特定されない形で行います。学術雑誌等に論文を投稿する際に、出版社に情報を提供する可能性があります。その場合も個人が特定されない形で行います。使用する対応表は病院情報システム内で管理し、対応表のデータ取り出しは行いません。必要に応じて紙媒体で印刷した場合は、放射線科医局の施錠できる棚に保管し、使用後速やかにシュレッダーで廃棄します。他機関での対応表の管理および機関間での対応表の授受はありません。</p> <p>この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意志に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないように致します。ただし、お申し出いただいた時にすでに解析が開始され、匿名化したデータが分離不可・特定困難な場合や、研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に破棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療に何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の資金源は日本メジフィジックス株式会社からの寄附金になります。また、本研究は琉球大学利益相反審査部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得て行います。</p>
お問い合わせ先	<p>琉球大学病院 放射線科 電話：098-895-1162 担当者：西江 昭弘</p>
備考	<p>当院の連絡先：放射線科 電話：098-878-0231 担当者：宮良 哲博</p>